




2025 年度事業報告および決算

2026 年 6 月 2 日



北陸経済連合会

2025 年度事業計画の実施状況と評価・方向性（総合対策委員会）

事業計画	実施状況（○数字）、評価・方向性（→）
●第六次中期アクションプランの策定	
(1) 第六次中期アクションプラン（2026～2030 年度）の策定	<p>①策定検討ワーキンググループの設置</p> <p>第 1 回：スマート・リージョン北陸（4/17） 講師：東京大学大学院越塚登教授 </p> <p>第 2 回：CN、GX（5/22） 講師：経済産業省 GX グループ 中原廣道環境政策課長</p> <p>第 3 回：スタートアップ、DX（6/6） 講師：株式会社 jig.jp 福野泰介取締役創業者</p> <p>第 4 回：DE&I（6/16） 講師：（公財）Well-being Planet for Earth 石川善樹代表理事</p> <p>②各委員会や産学連携懇談会等での議論、常任理事会での承認を経て、2026 年 1 月の年頭会見にて公表</p> <p>③新アクションプランに基づく 2026 年度事業活動方針の策定・公表</p>
●令和 6 年能登半島地震・豪雨からの産業復興・再生に向けた取り組み	
(1) 「能登半島地震からの産業復興・再生ビジョン」（2024 年 6 月公表）の継続的なフォローアップ	<p>①BCM（業務継続マネジメント）に対する会員の意識調査をもとに、BCMの実態や能登地震を契機とした意識変化などについて整理し提言（8/22 公表）</p> <p>②被災地の産業復興を目的とした座談会を開催（七尾商工会議所と共催 6/25） </p> <p>【参加者】 能登側：和倉温泉まちづくり協議会、七尾一本杉通り振興会、輪島キリモト、農家民宿フォレスト、珠洲外浦の未来をつくる会、富来商工会青年部 北経連側：北陸コカ・コーラボトリング、三井物産、双日、HIAC</p> <p>③復旧・復興状況の定期的な更新・関係個所（経団連等）への共有、北陸物語HP「今行ける能登マップ」と併せた情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経団連・自治体の協力のもと大阪・関西万博に輪島塗大型地球儀を展示支援  ・4/25 中部社研 SDGs × 能登復興のフォーラム（北経連共催） ・10/9 ショップチャンネル輪島中継（当会が石川県を紹介し実現） ・11/19 経団連との懇談会 <p>→復興に向けた取り組みや、能登の教訓を生かした防災レジリエンス強化に資する情報発信を継続的に実施</p>

事業計画	実施状況（○数字）、評価・方向性（→）
1. スマート・リージョン北陸に向けた社会基盤整備の促進	
(3) 行政・社会システムのデジタル化 (a) 政府への要望活動	①北陸におけるスーパーシティ・スマートシティ構想の実現に向けた支援を要望（8/6）
(b) スーパーシティ、スマートシティの推進	①アクションプラン策定検討WGにて講演会「『スマート・リージョン北陸』実現のための方策」を開催
(4) 脱炭素社会実現を目指したエネルギー・環境対策 (a) 政府への要望活動	①カーボンニュートラル（以下、CN）・GXの推進に必要な支援を要望（8/6）
(b) 三県一体となったCN実現に向けた取組みの促進 北陸環境共生会議（三県、北陸電力、北経連で構成）として実施	<p>①カーボンニュートラル BASE 北陸のセミナーや勉強会、マッチングイベントの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5/30「補助金・水素勉強会」開催（参加者 130 名） 登壇：経済産業省中部経済産業局カーボンニュートラル推進室、富山水素エネルギー促進協議会、ふくい水素エネルギー協議会 ・北陸水素検討会合（7/29, 9/17, 11/6 全3回） ・10/10 いしかわゼロカーボンの日に合わせマッチングイベントを開催（参加者 90 名、石川県と共催） 登壇：日立製作所、ディエスジャパン、パワー・アンド・IT、金沢機工、北菱電興、中小企業基盤整備機構、CCI グループ写真⑤ ・2/4 会員懇談会（テーマCN、参加者 100 名） 登壇：北酸 環境エネルギー部長 若木氏 「CNに向けた北陸水素サプライチェーン構想に向けた取組み」、 日華化学 代表取締役社長執行役員 CEO 江守氏 「サーキュラーエコノミー経営」 ・3/11 ビジネスマッチング相談会（展示会形式、参加者 100 名、坂井市と共催） カーボンニュートラル BASE 北陸は、日立製作所、金沢機工、環境微生物研究所を取次 <p>②ウェブサイトの充実（掲載コンテンツの拡大、CN関連の情報発信）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規掲載コンテンツ：3 社 ・情報発信：21 件 <p>③展示会等に出展し、参画団体の裾野拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10/23-24 技術交流テクノフェア（福井市） ・10/30-11/1 富山ものづくり総合見本市（富山市） ・11/14 北陸先端大 MatchingHUB 北陸（金沢市） ・3/11 ビジネスマッチング相談会（福井市） <p>④視察等を通じたCNに関する知識向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10/1-2 中国経済連合会との意見交換会、 マツダ・海田バイオマス発電所の視察 ・12/19 石川県立大学馬場研究室（メタンガス発電） 北菱電興いちごファーム白山（小水力の活用）

事業計画	実施状況（○数字）、評価・方向性（→）
	⑤経済産業省「GX 支援機関強化事業」に採択され、セミナーに参加 ・10/20、10/28 オンラインセミナー・討議（中小企業がGX 取り組むメリット、提案の手法等） ・1/27 リアル開催（三県連携策の検討） →今後も各県および支援機関等との連携を強化し、セミナー・イベントや情報発信を継続的に実施
(5) 東京一極集中の打破 ①企業誘致・投資促進 (a) 政府への要望活動 (b) 大規模展示会への出展による企業立地環境PR (b)～(d)は北陸国際投資交流促進会議（三県、北陸電力、北経連で構成）として実施	①企業誘致・投資促進、権限移譲等に対する支援を要望（8/6） ①大都市で開催される展示会にブース出展 ^{写真⑥} ・10/14-17 CEATEC2025（幕張）アンケート数194件 ・3/17-19 SMART ENERGY WEEK（東京）アンケート数102件 →今後も展示会等で北陸地域への企業立地の魅力についてPRを実施
(c) 企業誘致に関する勉強会、意見交換会の開催	①効果的な企業誘致施策等に関して、専門家による勉強会、各県担当者との意見交換会を開催（9/26参加者32名） 講師：一般財団法人日本立地センター 産業立地部長兼不動産事業部長 増川邦弘氏 →今後も企業誘致を進める上で参考となる勉強会を開催
(d) 北陸域内企業の視察	①新卒や若年層・女性層に人気のある企業を視察し、魅力的な企業誘致に向けた示唆を得る クスリのアオキ視察（9/9参加者6名） →今後も誘致・進出成功企業や若手人材育成・定着成功企業等の視察を実施
②関係人口等の増加 (a) 政府への要望活動	①周遊観光、インバウンド観光等に必要な支援を要望
(b) 北陸の魅力に関する情報発信 北陸イメージアップ推進会議（三県、北陸電力、北経連で構成）として実施	①北陸物語 HP に「世界が恋する工芸旅」を掲載。外国人が注目している伝統工芸体験等を日本人へ逆発信 ②大阪・関西万博に合わせて、大阪「HOKURIKU+」で、において北陸の魅力を発信するイベントを開催 7/29 参加者45名、フォロワー45名増
(c) 「地域力向上に関する提言書」の具体化	①三県を形どったシンボルマークの活用 「北陸三県広域リージョン連携」等で活用（10/20宣言） →今後も「北陸三県広域リージョン連携」、「北陸戦略連携協議会」等で三県連携のシンボルとして活用
(d) 「北陸のシェアトップ150」（2025年度改訂版）による北陸企業のPR	①当会が出展する産業展示会等で配付 ②大学の就職支援部署等に送付し、人材確保にも貢献 →今後も北陸企業のPRに活用
2. 企業の労働生産性の向上と成長	
(b) 付加価値生産性向上に関する情報提供	①会員懇談会での講演会等を通じた情報発信 DX：10/30、DEI：11/28、CN：2/4

事業計画	実施状況（○数字）、評価・方向性（→）
●その他	
(1) 政府要望 (a) 政府要望活動 (b) 行政当局、関係団体との懇談会開催	①北経連単独要望活動（8/6） 写真④ ②西日本経済協議会要望活動（11/13） ③三経連要望活動（11/25） ①北経連主催 ・三県知事との懇談会（8/22） ・北陸選出の自民党国会議員との懇談会（11/13） ・経団連との懇談会（11/19） ・中部・近畿経済産業局との懇談会（12/10） ②他団体主催 ・北陸三県地域産業振興連携会議（7/14, 11/13, 3/26） ・北陸地方整備局・運輸局との懇談会（8/8） ・三経連経済懇談会（8/27, 28） ・西日本経済協議会総会（10/16） ・経済産業省佐々木統括審議官との懇談会（12/3） ・北陸地域未来戦略検討会（2/17）
(2) 大学と産業界の連携強化	①北陸産学連携懇談会（会員大学の学長と当会役員との懇談会）の実施（9/8 参加者 39 名 北陸先端科学技術大学院大学） ②北陸未来共創フォーラム令和7年度成果報告会にて金井会長が基調講演を実施（2/24） 写真⑧
(3) 三県、中部圏との連携強化	①北陸戦略連携協議会 ・8/22 三県知事懇にて合意（北陸三県に共通する諸課題を解決するための実務者レベルの協議会） ・第1回協議会（1/15、テーマ：アンコンシャスバイアス解消、各県の取組・課題を共有） 写真⑦ ・第2回協議会（3/25、26年度知事懇での共同宣言内容、連携策について協議） ②北陸三県広域リージョン連携 ・10/20 連携宣言式 （構成員：北陸3県、北経連） ③中部広域リージョン連携 ・11/26 連携宣言式 （構成員：富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、名古屋市、静岡市、浜松市、北経連、中部経済連合会） →各プロジェクトへ参画し、連携・協働を推進する

以上

＜参考＞実施状況に関する写真

	
<p>①大阪・関西万博にて輪島塗地球儀の展示</p>	<p>②アクションプラン策定検討ワーキング(4/17)</p>
	
<p>③能登座談会、一本杉通視察(6/25)</p>	<p>④政府要望活動(8/6)</p>
	
<p>⑤カーボンニュートラルBASE北陸マッチングイベント(10/10)</p>	<p>⑥北陸国際投資交流促進会議展示会出展(10/14-17)</p>
	
<p>⑦第1回北陸戦略連携協議会(1/15)</p>	<p>⑧北陸未来共創フォーラムR7年度成果報告会(2/24)</p>

2025 年度事業計画の実施状況と評価・方向性（人財活躍推進委員会）

事業計画	実施状況（○数字）、評価・方向性（→）															
3. 北陸企業の「ダイバーシティ & インクルージョン」ブランド化の推進																
(1) 女性活躍 (a) えるぼし認定取得促進	① えるぼし認定のメリットの周知 <ul style="list-style-type: none"> ・税制等のインセンティブや、人材確保面でのメリットを、HP、北経連トピックス、行事等を通じて PR →北経連トピックスにて随時情報発信 ・新たにえるぼしを取得した会員 6 件 内訳：(株)福井銀行、野村証券(株)2 支店、(株)東芝、フクビ化学工業(株)、JFEエンジニアリング(株) 参考：過年度の認定件数（北経連会員） <table border="1" data-bbox="833 658 1445 871"> <thead> <tr> <th></th> <th>新規件数</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2022 年度</td> <td>-</td> <td>54 件</td> </tr> <tr> <td>2023 年度</td> <td>6 件</td> <td>60 件</td> </tr> <tr> <td>2024 年度</td> <td>10 件</td> <td>70 件</td> </tr> <tr> <td>2025 年度</td> <td>6 件</td> <td>76 件</td> </tr> </tbody> </table> ② 北経連HP内の「女性活躍推進の取組み」改修に向けて掲載内容の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・会員企業における女性活躍推進の取組みを紹介しているページ →認定制度取得企業の検索方法、取得項目の掲載内容拡充を志向。 12月の委員会の意見を踏まえ、女性活躍に限らず男性育休や健康経営など幅広くDE&Iに取り組む企業の情報を網羅した内容に改修予定。 		新規件数	累計	2022 年度	-	54 件	2023 年度	6 件	60 件	2024 年度	10 件	70 件	2025 年度	6 件	76 件
	新規件数	累計														
2022 年度	-	54 件														
2023 年度	6 件	60 件														
2024 年度	10 件	70 件														
2025 年度	6 件	76 件														
(b) 企業・経営者向けの女性キャリア形成に資する情報発信	① 報告書「北陸企業 DE&I 推進の取組み」（2025 年 1 月公表）に基づいたシンポジウム <ul style="list-style-type: none"> →10/30 会員懇談会の場にて実施 講演：MS&AD ホールディングス(株) 常務執行役員 本島なおみ氏 「誰もが自分らしく輝ける社会を目指して ～DE&I 経営で未来にバトンを繋ぐ～」 パネルディスカッション：「DE&I を語ろう！」 ◆パネラー MS&AD ホールディングス(株) 常務執行役員 本島なおみ氏 立山科学(株) 執行役員 篠原おりえ氏 中村留精密工業(株) 人事課マネージャー 吉野裕梨氏 北陸経済連合会 人財活躍推進委員会 林正博委員長（福井銀行取締役会長） ◆ファシリテーター (株)ワーク・ライフバランス 山崎純平氏 															

事業計画	実施状況 (○数字)、評価・方向性 (→)
(c) 他地域との連携	① 女性活躍に取り組む他地域団体との情報交換 8/26 北陸韓国経済交流会議 テーマ「女性活躍」 →8/26 北陸韓国経済交流会議にて「北陸と韓国における女性活躍の現状と展望～DEI 推進に向けた北陸の取組みと連携の可能性～」と題して北陸の現状および北陸企業や行政の取り組みを紹介
(2) シニア活躍 (a) 人事・賃金等の制度設計や経営者の意識改革に関する情報発信	① 65歳以上の高年齢者の継続雇用のために必要となる「人事・賃金制度」等の整備に資する情報発信 ・関係機関との連携による外部セミナーや諸制度等の案内 →当会HP、北経連トピックスによる情報発信 ・7/14 JEED※石川支部 雇用に関与する助成金等説明会 ・10/24JEED※石川支部 高年齢者雇用推進セミナー ※ 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構
(3) 働き方改革 (a) 副業・兼業等、多様な働き方による企業価値向上に資する情報発信	① 北経連HP内の「副業・兼業人材とのマッチング事業紹介ページ」の利用促進 ・会員アンケートを踏まえて、事例紹介をHPで見やすく掲載する →9/30 事業紹介ページをリニューアル 実際の事例を一覧にし、カテゴリー検索機能を追加することで、より閲覧してもらえよう工夫 ② 男性育休の促進に資する外部セミナー等の情報発信 →11/17 北経連トピックスにて情報発信 ・福井県「男性育休促進企業奨励金」
(4) 政府等への要望活動	① 女性活躍、シニア活躍、働き方改革に必要な政策に関する政府等への要望活動 →8/6 政府に対する要望活動 「人材活躍推進」に関わる主な要望事項 ・若者の地方定着に資する制度の拡充 ・えるぼし取得に向けた支援周知と予算措置 ・働きながら育児・介護できる環境整備への支援強化 ・高年齢者雇用に向けた環境改善に要する経費支援

●景況などに関する会員アンケート (2025年度下期) 調査結果

2025年10月、会員企業の皆さまに景気動向、業績等のアンケート調査を行い、結果を当会WEBサイトに掲載しました。

【内容】景気動向、会員業績、**女性活躍推進** (17P～22P)、国際化、日米相互関税

【詳細】<https://www.hokkeiren.gr.jp/news/data/a9d78ed91bd47676f368cade6d02e4dc.pdf>



2025 年度事業計画の実施状況と評価・方向性（社会基盤委員会）

事業計画	実施状況（○数字）、評価・方向性（→）
1. スマート・リージョン北陸に向けた社会基盤整備の促進	
<p>(1) 北陸新幹線の大阪までの早期全線開通</p> <p>(a) 北陸三県をはじめとする沿線自治体や経済団体と連携した政府に対する要望活動の実施、各県で開催される大会・総会における要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4/7 北陸新幹線建設促進同盟会 担当課長会議 ・ 5/7 富山県北陸新幹線対策連絡協議会・北陸新幹線建設促進富山県民協議会 合同決起大会 ・ 5/12 北陸新幹線建設促進大会・総会・中央要請 要請先：自民党、与党 PT 関係、公明党、国土交通省、財務省、総務省 ・ 6/1 福井県北陸新幹線建設促進同盟会総会・講演会 ・ 6/14 北陸新幹線小浜・京都ルート建設促進同盟会 総会・決起集会 ・ 8/8 北陸新幹線建設促進石川県民会議総会 ・ 10/3 北陸新幹線建設促進同盟会 担当課長会議
<p>(b) 関西地域と連携した現地での PR 活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11/11 第 12 回関西・北陸交流会（JR 西日本主催） 当会宮原課長が「交通ネットワークの構築が北陸地域へもたらすもの」をテーマに登壇 ・ 11/29-30 万博鉄道まつり 2025（北陸新幹線早期全線開業実現大阪協議会と北陸新幹線建設促進同盟会の共催）
<p>(c) 懇談会等での PR 活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 懇談会等にて北陸新幹線建設促進同盟会作成のパンフレットを配布
<p>(2) 陸・海・空一体となった人流・物流基盤の強化</p> <p>①高速道路の全線 4 車線化、ミッシングリンクの解消</p> <p>(a) 政府に対する要望活動、国土交通省との懇談会等での要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6/3 全国高速道路建設協議会 総会・要望活動 ・ 8/5 東海北陸自動車道整備促進大会 要望活動 ・ 8/6 政府要望 <ul style="list-style-type: none"> ① 東海北陸自動車道、中部縦貫自動車道、能越自動車道、舞鶴若狭自動車道の整備促進を要望。 ② 小松白川連絡道路の事業化に向けた調査促進を要望 ・ 11/1 中部縦貫自動車道大野油坂道路整備促進大会 ・ 11/27 高速道路を活用した地域活性化に関する研修会
<p>②北陸地域の港湾・空港の利便性の向上</p> <p>(a) 北陸地域の港湾の利便性向上に向けた政府に対する要望活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8/6 政府要望 <ul style="list-style-type: none"> ① 日本海側拠点港の整備促進、最新物流施設への転換を要望。
<p>(b) 三県・港湾関係機関との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7/11 ポートセールス向上をテーマに勉強会・見学会（敦賀港）実施 各県から担当者 2 名の参加（計 10 名）

事業計画	実施状況（○数字）、評価・方向性（→）
(c) 北陸地域内空港の路線網維持に向けた政府に対する要望活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7/3 小松空港協議会 ・ 8/6 政府要望 <ul style="list-style-type: none"> ①国内、国際路線網・便数の維持のための支援 公共交通機関による空港アクセスの安定供給のための、運転手確保に対する支援を要望。
③人流・物流の強化 (a) 物流 DX、物流業界の労働不足対策、その他人流・物流に関する情報収集、勉強会・見学会等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9/24 視察会開催 新取川橋 RN、小松空港 CIQ エリア・自動運転バス視察(参加者 24 名)
(b) 物流に関して太平洋側の代替機能を果たすためのインフラ等の強化に向けた政府に対する要望活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8/6 政府要望 <ul style="list-style-type: none"> ①代替機能を果たすための物流インフラ（拠点港の国際物流ターミナル、高規格道路等）の整備を要望。 ②代替輸送基本行動計画の着実な実施とフォローアップを要望。 ③日本籍船起用振興強化に向けた日本人乗組員の確保に対する支援、地方港湾における安定した輸送手段確保に向けたルートや船社の充実に対する支援を要望。
(c) 「北陸地域国際物流戦略チーム」への参画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10/1 第 1 回広域バックアップ専門部会（WEB 併催） ・ 11/18-11/19 南海トラフ巨大地震を想定した日本海側港港湾への代替輸送訓練・ワークショップ（WEB 併催） ・ 2/5 第 2 回広域バックアップ専門部会（WEB 併催） ・ 3/2 北陸地域国際物流戦略チーム R7 年度幹事会（WEB 併催）
(d) 並行在来線への支援、域内 2 次交通の充実にに向けた政府に対する要望活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8/6 政府要望 <ul style="list-style-type: none"> ①利便性向上のため、更なる利用者増加による三セク会社の収支改善に向けた支援、運営費支援等の新たな仕組みによる地元負担軽減を要望。
(e) 各県並行在来線利用促進協議会等への参加	<ul style="list-style-type: none"> ○あいの風とやま鉄道 <ul style="list-style-type: none"> ・ 6/23 あいの風とやま鉄道利用促進協議会 ・ 12/10 あいの風とやま鉄道利用促進協議会幹事会 ・ 12/16 あいの風とやま鉄道利用促進協議会 ○IR いしかわ鉄道 <ul style="list-style-type: none"> ・ 11/19 IR いしかわ鉄道利用促進協議会企画経営部会 ○ハピラインふくい <ul style="list-style-type: none"> ・ 6/11 ハピラインふくい利用促進協議会 ・ 12/25 ハピラインふくい利用促進協議会幹事会

事業計画	実施状況（○数字）、評価・方向性（→）
<p>④自然災害等に対応する社会基盤、企業設備等の充実・強化</p> <p>(a) 自然災害等に対応する社会基盤、制度の充実・強化に関する要望活動</p>	<p>・ 8/6 政府要望</p> <p>①防災・減災投資に対する支援を要望。</p> <p>②自然災害に対する対策強化、拡充を要望。</p>
<p>(b) 民間企業の防災・減災投資に対する支援施策の拡充に向けた情報収集</p>	<p>・ 8/22 BCMに関する会員アンケート結果公開</p> <p>サプライチェーン全体での推進には、各社の取り組み状況などに関する情報共有や、国・自治体と民間との連携・働きかけが必要といった声や、過去の被災経験をBCPに反映するための会議体を立上げたといった取り組みも聞かれた。</p>
<p>(c) 西日本経済協議会「防災分科会」における意見交換・情報収集(防災分科会幹事:中部経済連合会)</p>	<p>・ 7/4 西日本経済協議会「防災分科会」参加</p> <p>各経連の取り組み状況、情報交換・意見交換、名古屋大減災館視察、福和伸夫氏（名古屋大名誉教授）講演</p> <p>→今後も域内全体の防災力向上を図るため、継続して情報・意見交換を行っていく。</p>
<p>北陸圏広域地方計画</p>	<p>・ 4/16、7/8、11/12、3/2 作業チーム打ち合わせ（WEB）</p> <p>・ 7/9 北陸圏・中部圏国土形成を考える会（北陸圏・中部圏広域地方計画合同有識者会議）（WEB聴取：意見書提出 7/16）</p> <p>・ 7/25 北陸圏広域地方計画協議会幹事会</p> <p>・ 9/19 金井会長（北陸圏広域地方計画協議会長）へ第三次北陸圏広域地方計画中間とりまとめ（素案）を北陸地整局説明</p> <p>・ 3/2 北陸圏・中部圏広域地方計画合同協議会（WEB）（意見書提出 3/12）</p>
<p>北陸・近畿地方整備局、北陸信越・中部運輸局との懇談会</p>	<p>・ 8/8 北陸地域懇話会</p> <p>会場 47 名（国交省 19 名、北経連 28 名）、オンライン 7 名参加（北経連が幹事・福井開催）</p> <p>→能登半島地震からの復旧復興や地域交通インフラ、観光、物流 DX などの課題について意見交換を実施</p>

以上

<参考>実施状況に関する写真



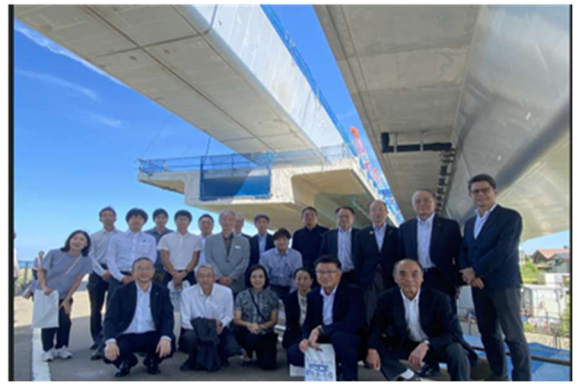
北陸新幹線整備促進同盟会中央要請 (5/12)



福井県北陸新幹線建設促進同盟会総会 (6/1)



北陸地域懇話会 (8/8)



現場視察会 (9/24)

2025 年度事業計画の実施状況と評価・方向性（新たな価値創出委員会）

事業計画	実施状況（○数字）、評価・方向性（→）
2. 企業の労働生産性の向上と成長	
(1) AI、IoT等デジタル化 a. 講演会の開催	<p>① 会員懇談会富山 テーマ「DX」（11/28）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「創業 400 年の老舗百貨店が挑む DX を活用したビジネスモデル変革」 <p>(株)大丸松坂屋百貨店 デジタル戦略推進室DX推進部長 アナザーアドレス担当 田端 竜也 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「DX2.0 北陸経済を元気にする3つの潮流とその方策」 (株)スカイエージ 代表取締役 浦川 伸一 氏 <p>② 新たな価値創出オンライン講演会（12/3）写真⑦</p> <p>「人×デジタルで創る競争力 — 中村留の現場 DX が変えるものづくり」中村留精密工業(株) Bridg3 事業部 事業部責任者 中宮 正人氏 →アンケート等を参考に分野や講師を検討し企画する。</p>
b. 関係団体イベントの周知	<p>① 下記のセミナー等の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北陸情報通信協議会 定期総会特別講演「都市と地方をかきまぜる」（5/9 金沢市 北経連後援） ・北陸産業活性化センター(HIAC)「北陸フェムテックネットワーク設立総会」（5/23 金沢市 北経連後援） ・中部経産局北陸支局「デジタル人材と共にマナブ！北陸 DX キックオフセミナー」（8/4）オンライン参加 ・北陸総合通信局「北陸地域 ICT イノベーションセミナー2025」（12/16 金沢市 北経連後援）参加 ・北陸総合通信局『ビジネス』を護るサイバーセキュリティディズ2026（2月16日 Seminar Day, 2月17日 Practice Day）（金沢市 北経連共催）参加 ・中部経産局北陸支局 富山発・経営リーダー共創プログラム「FUSO（富創）」（2026/6/12～ 富山市）
(2) 産学官連携による人材育成 デジタル人材育成に向けた大学等との連携と情報提供	<p>① 金沢工業大学との共催「DX リスキル教育」開講（12/10-2/27 オンデマンド講座 2/20 講義演習 対面開催）写真⑧</p> <p>講師：金沢工業大学 教授他 受講者数 32名（会員企業から24名） →アンケートを参考に次年度以降の実施形態を検討</p> <p>②大学等が主催するリスキル教育の募集案内周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金沢工業大学「KITリカレント教育プログラム夏期集中講義 情報技術教育」（8-9月） ・経済産業省 デジタル人材育成プログラム「マナビDX Quest」 ・（一社）数理人材育成協会(HRAM) データサイエンス応用コース〈第6期〉（事務局：大阪大学） ・金沢工業大学「KITリカレント教育プログラム春期集中講義 情報技術教育」（2-3月）

事業計画	実施状況（○数字）、評価・方向性（→）
	③金沢大学「博士人材の育成・輩出、活躍促進に向けたアンケート」の協力依頼を4月に会員企業へ発出
(3) オープンイノベーション a. 交流機会の創出 (a) 大学見学会等の開催	①北陸先端科学技術大学院大学見学会（9/8） 写真① （総合対策委員会と共催、JAIST ギャラリー、図書館などを見学）
(b) 産学技術交流会の開催	①金沢大学：金沢大学が取り組む社会課題解決に向けた『産学官金連携』による社会共創活動について（10/8 金沢市 24名 共催者・北経連含む） 写真② ②立山科学(株)：スマートファクトリー実現を目指した立山科学グループ工場見学（11/5 富山市 28名 共催者・北経連含む） 写真⑤ →今後も交流機会の創出のため継続して実施する。
b. 国内外スタートアップのプラットフォームへの参画 (a) 域内スタートアップ(SU)支援団体との連携	①中部経済産業局北陸支局「北陸共創コミュニティ」（北経連は協力機関として参画） ② 富山県「T-Startup」（北経連はサポーター） ・「とやまスタートアップエコシステムサミット」（9/29、2/20 富山市）を周知、現地参加 ③域内 SU 支援団体等との情報交換 ・中小企業基盤整備機構と金沢大学が中心の北陸地域 SU 支援団体等の意見交換会に北経連参加
(b) 域外 SU 支援団体との共催イベントの開催等	①西日本経済協議会イノベーション部会で他地域 SU 関係の取組を情報交換（7/17、広島市） ②中部経済産業局との共催 SU ピッチ「MEET UP CHUBU 北陸発イノベーション（自動化・省力化）」（2/12、名古屋市） 写真⑨ 北経連の活動を紹介、域内スタートアップ3社が登壇 ③大阪商工会議所主催北経連協力「Doco Demo Festival OSAKA」（3/27、大阪）ブース展示コンテンツ「スタートアップショーケース」に北経連から紹介した北陸 SU 企業1社（フィッシュパス）が出展予定
(c) 関係団体主催イベントの周知	①福岡 Growth Next「Growth Pitch」4-12月の開催周知
c. マッチング (a) 関係団体との連携等によるマッチング	①会員等からの紹介依頼等により会員企業や関係団体への取次ぎ等の実績：0件
(b) 北陸地域の産業展示会等への協力と出展	①北陸技術交流テクノフェア 2025（10/23-24、福井市、北経連は実行委員会に参画）北陸産業活性化センターおよび金沢工業大学と共同でブース出展 写真③ ②富山県ものづくり総合見本市（10/30-11/1、富山市）北陸産業活性化センターと共同でブース出展 写真④ ③北陸先端大 Matching HUB 北陸（11/13-14）会長ビデオメッセージ配布および出展 写真⑥

事業計画	実施状況（○数字）、評価・方向性（→）
<p>(c) 北陸のシェアトップ150(改訂版)を活用した北陸企業のPR</p>	<p>①産業展示会等での配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全会員と会員大学等の就職支援部署へ4月配布完了 ・北陸技術交流テクノフェア、富山県ものづくり総合見本市、Matching HUB 北陸、GEATEC 2025 (10/14-17、幕張)にて配布 <p>→掲載企業との取次依頼に対応していく。</p>
<p>(4) 新事業創出</p> <p>a. 新たな価値創出・事業化</p> <p>(a) 北陸の産学官金連携プラットフォーム等への参画・協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北陸RDX ・北陸未来共創フォーラム ・TeSH (大学発SU創出) ・HOSTEC 	<p>①産学融合拠点創出事業「北陸RDX」 (北陸DXアライアンス会長に北経連会長が就任)</p> <p>②「北陸未来共創フォーラム」 (フォーラム会長に北経連会長が就任)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度成果報告会(2/24)周知、参加 金井会長による基調講演 <p>[備考: ①と②の国からの補助期間は2025年度最終]</p> <p>③「テック・スタートアップ北陸(TeSH)」 (北経連は協力機関として参画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力機関への参画依頼を会員企業2社に取次 ・FUKUI Interdisciplinary Fes. 2025(8/25 福井市)周知、参加 ・TOYAMA Interdisciplinary Fes. 2025(9/26 富山市)周知、参加 ・北陸地域発グローバルスタートアップ創出に向けて(9/22 東京都)周知 ・TeSH デモディ開催(11/14、金沢市)参加 ・総会/ステップ1最終報告会(3/10、金沢市)参加 <p>④「北陸スタートアップ・エコシステム・コンソーシアム(HOSTEC)」(北経連は産業団体として参画) 北陸三県共同で申請した国の補助事業「第2期スタートアップ・エコシステム拠点形成計画(NEXTグローバル拠点都市)」に6月に採択された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キックオフイベント開催(7/3、富山市)北経連参加 <p>⑤産学連携に関するイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金沢大学「未来知実証センター竣工イベント」(6/23、金沢市)北経連から専務出席 ・日経 地方創生フォーラム in 金沢「能登半島地震からの復興への取り組み」(9/20 共催金沢大学、北経連後援)HPで周知し、参加。 ・富山県立大「産学連携勉強会～共同研究で企業の未来を切り拓く」(10/2、3 射水市)に参加 ・北陸先端大「JAIST シンポジウム～「知」で突き抜ける。北陸の未来を創るリーダーの次の一手。」(10/9 金沢市)HPで周知し、参加。 <p>→新事業創出に資する情報収集を行う。</p>

事業計画	実施状況（○数字）、評価・方向性（→）
b. 新事業等に対する参入規制緩和	先端技術利用やビジネス展開等に対する規制緩和に加え、地方における新事業創出と大学発 SU 支援、企業の設備投資および人材育成の支援等について要望 （総合対策委員会 政府要望 WG と連携） ・ 政府要望活動（8/6、東京）
c. 国内外からの投資 (a) 大規模展示会への出展	①北陸国際投資交流促進会議として下記展示会に出展 ・ CEATEC2025（10/14-17、幕張） ・ SMART ENERGY WEEK（3/17-19、東京）
(b) 企業誘致勉強会	①オンライン勉強会（9/26） （一財）日本立地センター 増川 邦弘氏 「最近の産業立地の動向および効果的な企業誘致の取り組み」
(c) 北陸域内企業視察	①(株)クスリのアオキ（9/9） 就職先として若者に人気のある企業を視察 （マイナビ就職人気企業ランキング北陸エリア5年連続 No.1）

以上

<参考>実施状況に関する写真



①北陸先端科学技術大学院大学大学見学会 (9/8)



②技術交流会「金沢大学 未来知実証センター」 (10/8)



③北陸技術交流テクノフェア 2025 (10/23-24)



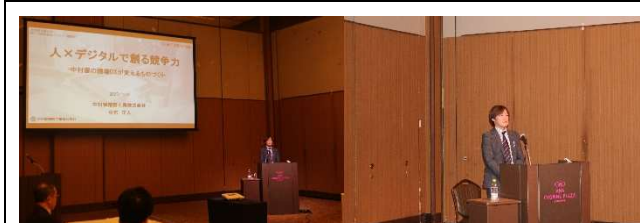
④T-Messe2025 富山県ものづくり総合見本市 (10/30-11/1)



⑤技術交流会「立山科学株」 (11/5)



⑥北陸先端大 Matching HUB 北陸 (11/13-14)



⑦新たな価値創出オンライン講演会 (12/3)



⑧DX リスキル教育 (講義演習 2/20)



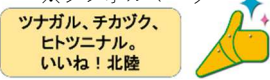
⑨「MEET UP CHUBU」 (2/12)

2025 年度事業計画の実施状況と評価・方向性（観光委員会）

2025 年度事業の重点項目

1. 能登半島地震からの観光復興
2. 高付加価値インバウンドの地方誘客促進
3. 北陸新幹線敦賀開業効果の持続・発展

事業計画	実施状況（○数字）、評価・方向性（→）
2. 北陸企業の労働生産性向上と成長 (5)市場開拓 (2)広域観光	
(1) 能登半島地震からの観光復興に向けて	<p>① 観光基盤の回復等に向けた政府への要望活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 政府要望(8月)で、観光産業の復旧・復興を要望 <ul style="list-style-type: none"> － 観光地の景観保全・施設復旧に向けた支援 － 被災地のタクシー事業への支援 <p>→ 今後も会員ニーズを踏まえて要望</p> <p>② 観光復興に関する大学等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北陸未来共創フォーラム観光分科会「次世代観光産業振興WG」(国立4大学、北経連で構成)で、能登復興の視点を取り入れた防災ツーリズム等について議論している。 <p>→ 引き続き学識者と連携</p> <p>③ 「能登応援ツアー」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9/17-9/18、観光委員会委員8名、事務局3名が参加。 <ul style="list-style-type: none"> － 和倉温泉観光協会から和倉温泉の現状説明・護岸工事の現場視察、和倉温泉宿泊、能登島ガラス美術館見学 → 和倉温泉の最新状況、今後の見通しなどを説明いただき、有意義な視察となった
(2) 政府への要望活動 (復興関連を除く)	○ 「インバウンド促進・受入環境整備」等
(3) 北陸の魅力を情報発信	○ 「北陸物語」HP、Facebook、Instagramによる情報発信の強化。閲覧数が増えている「北陸物語」のコンテンツを一層充実させる。
	<ul style="list-style-type: none"> － HP 訪問回数 4/1-3/31 86,669回(前年同期比+54.1%) － facebook 3/31 時点フォロワー60,650(昨年度末60,752) － Instagram 3/31 時点フォロワー1,750(昨年度末1,274) ・ 特集「世界が恋する工芸旅」(外国人が注目する伝統工芸やその体験の紹介) <ul style="list-style-type: none"> － とやま土人形、加賀指ぬき・加賀てまり、加賀八幡起き上がり、越前漆器、越前和紙 ・ 新しいライターの起用 <ul style="list-style-type: none"> 富山県ライター：高橋舞衣(取材先：8カ所) <ul style="list-style-type: none"> － 水力発電所を再生したアートスポット「下山芸術の森 発電所美術館」 － ウイスキーを五感で楽しめる「三郎丸蒸留所」ほか 福井県ライター：武澤和代(取材先：8カ所) <ul style="list-style-type: none"> － 300種類以上のレンズから選ぶ楽しさ「レンズパーク」 － 「世界にひとつ」を作るガラス体験「KEiS庵」ほか ・ デジタルマップの導入(テーマ旅掲載スポット) ・ 新しいコンテンツ(世界が恋する工芸旅)や既存コンテンツの修正を受けて、サイトの広告配信を実施。

事業計画	実施状況（○数字）、評価・方向性（→）
<p>(4) 「北陸」の知名度向上</p> <p>※シンボルマーク ツナガル、チカツク、 ヒトツニナル。 いいね！北陸</p> 	<p>○ 北陸3県の連携を表すシンボルマークの活用 （総合対策委員会「接続型都市圏形成による北陸の地域力向上策」より）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「北陸三県広域リージョン連携」等で活用（10/20宣言） <p>→今後も「北陸三県広域リージョン連携」、「北陸戦略連携協議会」等で三県連携のシンボルとして活用。</p>
<p>(5) 観光業の生産性向上等</p>	<p>① 「北陸インバウンド観光DX事業」への参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2025年度、表題事業は北陸未来共創フォーラム観光分科会「観光DX推進WG」（国立4大学、三県・観光連盟、北経連等で構成）へ発展。 ・12/3観光庁へ「観光分野におけるDXの推進に向けた提言」を提出 <ul style="list-style-type: none"> - 観光データの標準化、オープンデータ化の必要性等 ・北陸観光データポータル「TIF DATA」において、三県の観光データを横断整備（三県横ぐし）。三県のアンケートの様態を統一、結果を集計・オープンデータ化。 <ul style="list-style-type: none"> - 北陸インバウンド観光アンケート - インバウンド満足度調査 など <p>→DX専門家も入り、実務的にも有意義な議論が行われており、引き続き参画していきたい。</p> <p>② 会員への情報提供（情報発信・講演 等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2026/4/6観光委員会終了後、講演会を開催 「3県連携による観光データの活用」 講師：石川県データアナリスト 羽生田文登 氏 <p>③ 北陸未来共創フォーラム 観光分科会等を通じた産学官連携した取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(1)②、(5)①を参照。
<p>(6) インバウンド促進 a. 観光庁事業への参画</p>	<p>○ 「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」（北陸エリア）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北陸のブランディング <ul style="list-style-type: none"> - ブランドブック作成、WEBサイト構築 ・販売準備：富裕層向けコンテンツの造成（15件） <ul style="list-style-type: none"> - 世界が認めるクラフトウイスキーのハンドフィル体験（三郎丸蒸留所） - 錦苑窯（丸谷焼 中田一於氏）プライベート工房訪問 - 越前漆器と禅寺で僧侶から学ぶ食の修行体験 など ・ネットワーク・販路形成 <ul style="list-style-type: none"> - 国内DMC招請ツアー（10社）、海外エージェント招請ツアー（12社）、海外メディア招請ツアー（6社） - 海外ラグジュアリー系商談会への参加（3回） など ・人材育成 <ul style="list-style-type: none"> - 通訳ガイド研修、宿泊施設・交通事業者向け研修 ・推進体制強化 <ul style="list-style-type: none"> - 地域における機運醸成のためのセミナー <p>〈参考〉北陸観光コンソーシアム（3地銀・コンサル会社で構成）が、北陸エリア事務局業務を受託。</p> <p>→引き続き連携・協力していく</p>

事業計画	実施状況（○数字）、評価・方向性（→）
b. インバウンド向けツール	○ 北陸3県広域案内ツールの検討（例：二次交通案内） ・北陸広域観光推進協議会と連携。英語版イラストマップの作成。
c. 関係団体との連携	<p>① 中央日本総合観光機構（以下「中央機構」。中部・北陸地方の広域連携DMO） ・理事会（6/17、2/2、3/18）、総会（6/17）への出席</p> <p>② 昇龍道プロジェクト推進協議会（中部北陸の官民連携インバウンド推進プロジェクト）</p> <p>③ ツーリズムEXP02025 愛知・東海北陸への参画 国内最大級の旅行博（会場：愛知県国際展示場） ・展示営業・商談部会、ブランド・広報部会のメンバーとして、開催・運営に協力。 ・7/16 開催概要発表会見、開催地連絡協議会に出席 ・9/25 オープニングセレモニーに、金井会長が開催地連絡協議会副会長として出席。三県・観光連盟、小松商工会議所、金沢ホテル懇話会等が、ブースを出展。 〈参考〉9/25-9/28の4日間で、旅行業界関係者、一般来場者合わせて、127,677人が来場。 →中部圏9県が共同ブースを出展するなど、全世界に中部圏の魅力を発信する有意義なイベントとなった。</p>
(7) 観光産業を担う人材育成	○ 関係団体の人材育成セミナーを会員企業へ周知 ・観光庁「モデル観光地におけるガイド育成セミナー」
(8) 北陸三県一体の誘客促進事業	<p>① 北陸三県誘客促進連携協議会（北陸三県、JR西日本、北経連） ・7/14 北陸誘客促進会議（若狭美浜温泉） ・8/21-8/24 北陸旅行の魅力PRイベント（ルクア大阪） ・10/1～12/31「北陸デスティネーションキャンペーン アフターキャンペーン」（北陸アフターDC） 一越前・若狭お城フェス、瑞泉寺ナイトミュージアム、“今行ける能登”復興支援の旅、観光列車（嶺南“はなあかり”、能登“花嫁のれん”、氷見・城端“べるもんだ”）など。 ・1/1～3/31「Japanese Beauty Hokuriku キャンペーン」 一2/7 首都圏発の団体専用臨時列車「つながる北陸～冬の美食」号運転</p> <p>② 北陸三県修学旅行誘客促進プロジェクト（3県観光連盟、JR西日本、北経連） ・教員や旅行会社を招いた現地視察会 一7/31～8/2 実施。公立中学校職員24名参加。 1日目：人道の港 敦賀ムゼウム、三方五湖レインボーライン、年縞博物館、美浜町レイクセンター 2日目：越前和紙の里、兼六園 3日目：和倉温泉お祭り会館、のとじま水族館、能登島体験 一8/20～8/22 実施。旅行会社社員33名参加。 1日目：スキージャム勝山、福井県立恐竜博物館、永平寺 2日目：東尋坊、ひみ番屋街・氷見漁業文化交流センター、瑞龍寺 3日目：越中八尾観光会館、桂樹舎和紙文庫、源ますのすしミュージアム、イタイイタイ病資料館、四季防災館</p>

事業計画	実施状況（○数字）、評価・方向性（→）
	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏等旅行会社×北陸観光事業者の商談会 －12/2 開催(東京)。 旅行会社 29 営業所参加。北陸三県事業者 47 団体参加。 ③ 北陸広域観光推進協議会(北陸三県、三県観光連盟、北経連) <ul style="list-style-type: none"> ・観光誘客用パンフレットの作成 －北陸路マップ 24,000 部(6 月)、英語版イラストマップ 18,000 部(12 月)を作成。 ・首都圏、関西圏での観光商談会 －9/17 首都圏観光商談会(北陸地区観光事業者 55 団体 72 名、首都圏旅行事業者 25 社 49 名) 2/27 関西圏商談会(北陸地区観光事業者 58 団体 91 名、関西圏旅行事業者 20 社 46 名) ④ 大阪・関西万博を契機とした北陸への誘客促進 <ul style="list-style-type: none"> ・HOKURIKU+ (ホクリクプラス・大阪の北陸三県情報発信拠点)での PR イベント －7/29「新幹線で行く 北陸物語すごろく抽選会」 北陸物語インスタをフォローした人(50 名)に、抽選で景品を進呈 →北陸新幹線の早期全線開業への機運醸成のためにも、関西圏での PR 活動を継続していく
(9) 大都市圏との交流拡大 関西経済連合会、西日本経済協議会(西経協)との連携	<ul style="list-style-type: none"> ① 大阪・関西万博の機運醸成への協力 <ul style="list-style-type: none"> ・開幕(4/13)後も引き続き行事等において PR。 ② 西経協 広域観光分科会(2025 年度は北経連が幹事) <ul style="list-style-type: none"> ・6/19(木) 第 1 回広域観光分科会 @高志会館(富山市) 地域資源を活用した観光振興に関する講話 山川智嗣 氏(職人への弟子入りが体験できる宿「Bed & Craft」を運営) 情報交換(各経連の観光振興の取り組み) ・6/20(金) 視察(富山市岩瀬地区) ・1/20(火) 第 2 回広域観光分科会(オンライン) －議題: ポスト万博の広域観光 等 →来年度 2026 年度の幹事は中部経済連合会。

以上

＜参考＞実施状況に関する写真
9/17-18 能登応援ツアー



9/25 ツーリズム EXP02025 愛知・東海北陸



7/29 「ほくりくぷらす」でのPRイベント



6/19-20 西経協広域観光分科会




2025 年度事業計画の実施状況と評価・方向性(国際委員会)

事業計画	実施状況 (○数字)、評価・方向性 (→)
2. 北陸企業の労働生産性の向上と成長	
<p>(5)市場開拓</p> <p>海外ニーズ調査</p> <p>(a) ASEAN諸国</p> <p>・ベトナム高官、インドネシア行政官との経済交流会、北陸企業の産業視察会の開催</p> <p>※政策研究大学院大学 (GRIPS) が海外公的部門の政策指導者及び政策プロフェSSIONナルの育成を JICA 事業の一環として実施。</p>	<p>I. ベトナム政府高官の「戦略的幹部研修」、及び交流懇談会</p> <p>(1)7月3日(木) 富山市役所 写真①</p> <p>①藤井市長挨拶</p> <p>②活力都市創造部都市計画課</p> <p>・富山市公共交通指向型都市開発 (TOD) について</p> <p>・富山市 PR</p> <p>③企画管理部スマートシティ推進課</p> <p>・スマートシティ構想について</p> <p>(2)7月4日(金)産業視察</p> <p>①津田駒工業株式会社 (事業説明、製造工場・織機展示場見学他) 高納会長、北野取締役常務、西村執行役員以下が対応 写真②</p> <p>②ニッコー株式会社 (陶磁器再生肥料、浄化槽プロジェクト他) 三谷充会長、三谷明子社長、室木執行役員環境プラント事業部長以下が対応</p> <p>③株式会社アクトリー (高度循環型社会構築を目指した環境プラント他)</p> <p>水越社長、北住管理グループ長以下が対応</p> <p>(3)7月4日(金)「ベトナム政府高官との交流懇親会 in 金沢」 写真③</p> <p>【日時】7月4日(金) 18:00-19:30</p> <p>【場所】金沢ニューグランドホテル 4F 参加者 49 名</p> <p>【主催】国立大学法人政策研究大学院大学・北陸経済連合会／北陸 AJEC・JICA</p> <p>【参加者】ベトナム政府次官・局長級 13 名、GRIPS 工藤教授他教職員、JICA 専門家/JICA 北陸通訳他 8 名、日本側は、中部経済産業局伊藤地域経済部長、高納国際委員会委員長、三谷北陸ベトナム協会会長、産業視察先代表、会員企業、通訳、事務局他 28 名 計 49 名</p> <p>→ 政策対話と産業実装を結びつけた高度な交流を通じ、都市政策・産業政策の双方で具体的な学びと相互理解が進展し、北陸地域のプレゼンスと信頼性を強く印象付けた。次年度も政府高官を受け入れたい。</p> <p>II. インドネシア行政官の北陸企業の産業視察会の開催</p> <p>【参加者】行政官 12 名、GRIPS/工藤教授、事務局</p> <p>(1)8月6日(水) 富山市役所</p> <p>①美濃部副市長挨拶</p> <p>②富山市公共交通指向型都市開発 (TOD) について</p> <p>③企画管理部スマートシティ推進課によるプレゼン</p> <p>④質疑応答</p>

事業計画	実施状況（○数字）、評価・方向性（→）
<p>・ 海外現地情勢報告セミナーの開催</p>	<p>(2)8月7日(木) 産業視察</p> <p>①株式会社タカギセイコー新湊工場（会社紹介、工場見学、質疑応答）仲安取締役常務執行役員、マルガタホールインドネシア社長以下が対応 写真④</p> <p>②津田駒工業株式会社（事業説明、製造工場・織機展示場見学）高納会長、北野取締役常務、西村執行役員以下が対応</p> <p>③石川県工業試験場（事業概要、デジタル活用ものづくり支援センター視察）担当部長以下が対応写真⑤</p> <p>→ 行政官向け実務直結型プログラムとして高い有効性が期待され、既進出企業を軸とした信頼性の高い情報提供となり、北陸企業の技術力・人材力の認知向上に繋がった。次年度以降も同国行政官を受け入れたい。</p> <p>I. 上期・下期に各1回開催</p> <p>・ 会員アンケート調査結果、会員企業の海外進出ニーズを踏まえ、対象国およびテーマを精査の上、既進出企業やシンクタンク等との共催を検討</p> <p>(1) 第1回海外現地情勢報告セミナー(オンライン)開催 写真⑥</p> <p>【日時】6月30日(月) 14:00-15:50</p> <p>【内容】主催者挨拶：高納国際委員会 委員長</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「住友商事 タンロン工業団地の最新情報ご紹介と最新の進出動向」 ・ 井口 里沙氏 第二タンロン工業団地 AGM 2. 「ナガツベトナム 人材・インフラ・操業環境面から見るベトナムの進出の魅力」 ・ 古井 広之氏 General Director, NAGATSU VIETNAM CO., LTD. 3. 「双日・ベトナム工業団地紹介」 ・ 石井 博之氏 General Director, LONG DUC INVESTMENT COMPANY LTD. 4. 「ナガエベトナム ベトナムでの操業について」 ・ 海津 寿明氏 NAGATSU VIETNAM CO., LTD. <p>【参加者】59名（含む、登壇者、事務局）</p> <p>(2) 第2回海外現地情勢報告セミナー(オンライン)</p> <p>【日時】2月2日(月) 14:00-15:20</p> <p>【内容】主催者挨拶：高納国際委員会 委員長</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「ベトナム経済概況と日系企業動向」 JETRO ハノイ事務所 次長 小林 恵介氏 2. 「ベトナム進出は“どこでつまづくのか” -製造業の進出可否を左右する会計・税務・出資規制・不正リスク-」 EY ベトナム ディレクター インドシナ副統括 西川 貴陽氏 <p>【参加者】42名</p>

事業計画	実施状況（○数字）、評価・方向性（→）
<p><関係機関・団体との連携></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関西経済連合会主催 「アジア・ビジネスプラットフォーム（ABC プラットフォーム）」事業への参画 <p>※対象は ASEAN 7 か国。</p> <p>※「ABC CHALLENGE サポートプログラム」とは「ABC プラットフォーム」事業の一つ。日系企業との協業に関心を持つ ASEAN 企業のビジネス支援を目的として運営中。ASEAN 企業と日本企業との商談、展示会への出展、万博会場見学等を含む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タイ：「お互いフォーラム協会」主催の国際会議、シンポジウム、セミナー、並びに懇談会開催支援 ・ ベトナム：「北陸ベトナム相互企業進出促進協会」主催の総会参加、及びセミナー等開催支援 ・ 西日本経済協議会（西経協）国際分科会への参画 <p>※西経協は 1965 年 6 月、産業人の立場からより良き西日本を実現するために連携・協力することを目的として、北陸・中部・関西・中国・四国・九州の各経済連合会により設立。国際分科会は 2021 年に発足した一分科会</p>	<p>→ 現地実務経験が豊富な専門家による、会員ニーズに合致した高品質な一次情報の発信であったことから、アンケート調査結果は「大変参考になった」が 74%、「参考になった」が 26%となり高評価であった。来年度は会員宛アンケート結果に鑑み、インドに関し、現地からの一次情報、インテリジェンスを発信予定。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「ABC プラットフォーム」HP 上の「技術・商材」に「北陸のシェアトップ 150」（2025 年 3 月改訂）を掲載の上、掲載希望の会員企業を掲載し、海外販路・顧客開拓を支援 ② 同プラットフォーム傘下スタートアップ部会主催の商談会を会員企業に紹介。海外販路・顧客開拓、及び新規事業創出を支援 ③ 4/20、ABC プラットフォーム第 4 回全体会議（開催地：大阪）に参加 ④ 「2025 年度 ABC CHALLENGE サポートプログラム」の一環として実施される、「ABC プラットフォーム」に属する各国経済団体からの推薦企業と北陸企業のビジネスマッチングを実施予定なるも北陸企業への紹介なし <ol style="list-style-type: none"> ① 2016 年 2 月、北陸 AJEC は当協会（タイ工業省主管）とタイ国・ASEAN 間の経済協力に関する覚書に則り、当協会主催の国際会議、シンポジウム、セミナー、並びに懇談会の開催を支援 ① 北陸 AJEC は同協会の顧問として、当協会主催の在阪ベトナム総領事館との連携事業を支援予定 ② 2026 年 1 月 30 日（金）第 9 回総会出席 【来賓】：在大阪ベトナム総領事 ゴー・チン・ハー氏 【演題】：「新時代における信頼される投資先・ベトナム～北陸地域とベトナムの戦略的パートナーシップの機会～」 【参加者】：30 名 ①各経連の事業計画・課題、連携事業の意見・情報交換（本年度幹事：四国経済連合会） <ul style="list-style-type: none"> ・ 11 月 5 日、第 2 回国際分科会を以下議事にて各経連から報告の後、質疑応答・意見交換。参加者：各経連より計 15 名が出席 (1) 2025 年度活動進捗報告および連携事業の「ABC プラットフォーム事業（関経連）」、「九州農水産物直販事業（九経連）」、「高度外国人材活用（共通）」等 (2) 外国人材の活躍・定着支援に関する活動報告

事業計画	実施状況（○数字）、評価・方向性（→）
<p>(b) 韓国</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 21 回北陸(日本)・韓国経済交流会議  <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 57 回 日韓経済人会議 ※北陸 AJEC は日韓経済協会協力会員 ・ KOTRA 名古屋館主催投資環境セミナー開催支援 	<p>I. 8 月 24 日 観光資源視察、8 月 25 日 産業視察、8 月 26 日 経済交流会議を開催。開催地：金沢市</p> <p>(1) 観光資源視察先：石川県立図書館、石川県立歴史博物館、石川県立伝統工芸館、兼六園他</p> <p>(2) 産業視察先：ホクショー(株)白山工場、金沢港クルーズターミナル、石川県工業試験場 (AI/IoT、ロボット) 金沢工業大学/革新複合材料研究開発センター</p> <p>(3) ～日韓国交正常化 60 周年記念事業～ 「第 21 回 北陸(日本)・韓国経済交流会議」開催 【日時】8 月 26 日(火) 10:00-17:30 【場所】ANA クラウンプラザホテル金沢 【参加者】日本側) 中部経済産業局、北陸三県、関係経済団体、会員企業等 66 名 韓国側) 産業通商資源部、東部 4 自治体、駐日大韓民国大使館、韓日経済協会、経済団体、民間企業等 48 名、計 114 名 【テーマ】「日韓国交正常化 60 周年、地域経済の成長と発展に向けて～経済連携と交流の拡大～」</p> <p>セッションⅠ：各自治体の地域活性化政策 セッションⅡ：①カーボンニュートラル、②女性活躍&DE&I、③港湾物流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開会挨拶：金井会長、韓日経済協会/徐錫崇副会長 ・ 祝辞：中部経済産業局/寺村局長、韓国産業通商資源部/金鍾喆通商協力局長 ・ 開催地挨拶：石川県商工労働部/西村部長 ・ 覚書締結：北陸 AJEC と社団法人韓日経済協会間にて北陸三県と韓国東部 4 自治体との地域経済活性化及び経済交流のさらなる促進を目的とした覚書を締結。 ・ 歓迎レセプション：石川県広報映像上映、輪島和太鼓演奏、石川県/浅野副知事が歓迎挨拶 ・ 次回は来年 10 月、韓国南東部の経済・産業拠点である大邱広域市にて開催予定。 写真⑦、写真⑧、写真⑨、写真⑩ <p>→ 日韓国交正常化 60 周年記念事業として開催、覚書締結により日韓両国が共通課題に向き合いつつ交流活性化と経済連携を深めていく重要性、継続性並びに信頼関係を再確認。来年度は大邱広域市にて開催予定。</p> <p>① 5 月 27 日-28 日、「第 57 回 日韓経済人会議」(開催地：ソウル市)に参加、参加者：日韓 287 名 写真⑪</p> <p>② 「韓国投資環境セミナー」開催支援</p>

事業計画	実施状況（○数字）、評価・方向性（→）
<p>(c) 【新規】海外有望市場のビジネス環境調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北陸 AJEC との連携事業 	<p>① ベトナムのビジネス環境調査団（9名）を派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月29日～10月4日、ハノイ、ホーチミンに高納委員長を団長とし、会員製造企業・金沢大学・双日総研にて、中国の代替市場として同市場への新規進出・販路開拓を検討に資する情報収集を目的として、現地・現場の最前線より以下の実態を直接ヒアリングし、会員企業の戦略的判断を促す有益な情報を多角的に収集した。報告書配付済み。 ①市場の将来性 ②現地サプライチェーンの状況・動向 ③進出支援体制の充実度 ④リスクマネジメント情報 ・具体的には、外国投資庁、企業・機関・経済団体、日系工業団地入居企業4社等、計15機関・企業等から現地ならではの一次情報を収集の上、意見・情報交換を実施。写真⑫、写真⑬、写真⑭、写真⑮ <p>→ 現地の最前線から実態を直接把握し、会員企業の戦略的判断を支える有益な情報を多角的に収集した。併せて、進出に伴うリスクとメリットを具体的に可視化するとともに、信頼性の高い現地ネットワークを構築するなど、今後の事業展開に直結する極めて成果の大きい調査となった。会員企業にも報告書配付済み。</p>
<p>(d) 海外関連セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関・団体と連携した海外情勢・動向、企業の海外展開に資するセミナー等の開催支援 	<p>① 関係機関・団体（中部経済産業局国際課、日中投資促進機構他）と連携し、海外情勢の最新事情と動向、注視すべきテーマ等に関するセミナー開催、情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インド、中国、ASEAN諸国、韓国等の関連セミナーをメルマガ、北経連トピックスにて周知
<p>3. 北陸企業の「ダイバーシティ&インクルージョン」ブランド化の推進</p>	
<p>(3) 高度外国人材(外国人留学生等)および特定技能外国人労働者の受入</p> <p>(a) 外国人留学生と留学生OB、企業との情報共有の場の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北陸未来共創フォーラムとの連携による、留学生の北陸企業への就職促進に資する取組みの実施 	<p>① 10月23日(木)「北陸企業留学生採用実例報告会及び留学生との交流会」 写真⑯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1部：留学生採用企業(2)の人事部門、留学生OBからの実例報告 (リアル&オンライン参加者計75名) ・会宝産業(株) (人事部門) 執行役員 社長室長 人事部部长 佐藤寧彦氏 (留学生OB) 国際営業部 係長 モレノ アレハンドロ氏 ・(株)PFU (人事部門) 人事統括部 人材開発部長 矢口孝彦氏 (留学生OB) 次世代事業開発室 RAPTOR 事業開発部 李健氏 ・第2部：北陸企業と留学生との交流会 (参加者58名) ・実施後アンケートでは、企業からは他社の留学生採用方針・考え方や留学生の生の声が聴けて大変参考になったという声が多数寄せられた。 <p>→会員企業の採用支援に結び付くような取組みを今後も実施予定。</p>

事業計画	実施状況（○数字）、評価・方向性（→）
(b) 「北陸未来共創フォーラム」（人材流入・地域定着分科会 WG2）への参画	① 6月17日(火)ミーティング ・令和6年度活動報告、令和7年度活動計画、及び経済産業省「高度外国人材活躍地域コンソーシアム」北陸コンソーシアムの業務支援メニュー利用に関する概要説明・協議等実施 ② 12月2日(火)留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト「Link KAGAYAKI」コンソーシアムイベント ・留学生の地域定着に関わる事業や取組み、採用マッチング事例の紹介等 ③ 3月13日(金)ミーティング ・令和7年度活動報告、令和8年度活動計画、及び経済産業省「高度外国人材活躍地域コンソーシアム」北陸コンソーシアムの令和8年度対応方向性に関する概要説明・協議等実施
(c) 特定技能外国人制度に関する情報収集・情報発信	① 12月9日(火)講演会 ・外国人材採用の際の法律や制度変更等必須知識の習得を狙いとした専門家による講演（双日ライフワン(株)により講演） →会員企業の高度外国人材及び特定技能外国人に関する理解促進を図り、採用に結びつくためにも今後も実施予定。
(d) 高度外国人材の受入環境、特定技能外国人制度等に関する要望活動 ・政府要望への織り込み	① 8月6日(水)政府等への要望活動実施 ・外国人留学生の就職促進および活用・定着に向けた施策の充実強化、地方の人手不足に対応した高度外国人材や特定技能外国人の大都市圏等への集中防止及び特定技能外国人の受入分野の拡大
(参考) 北陸 AJEC 単独事業	
調査研究・情報発信 (a) 調査研究 「経済安全保障を巡る動きとサプライチェーンの再編」のフォローアップ	① 過年度調査内容に関するフォローアップ ・会員企業の中国・海外事業戦略の検討に資するため、トランプ政権誕生後の経済安全保障の動向、サプライチェーン再編に関する実態、及び日本・北陸企業の対応と課題についてフォローアップを実施し、Warm TOPICにて記事掲載実施中
(b) 東アジア・東南アジアの政治・経済・ビジネス等に関する情報収集及びWarm TOPICを通じての情報発信 ・専門家からの情報収集・発信 ・北陸三県・北陸三地銀からの情報収集・発信 ・企業からの情報収集・発信	① Warm TOPICにおける情報発信 ② Warm TOPICにおける留学生OB・採用企業紹介 ・企業・行政から情報収集（留学生OBの状況、企業側のキャリアビジョン、採用・育成方針等）し、Warm TOPIC等を通じて情報発信。 ○Warm TOPIC 5/6月号 (Vol.183) ・「輸出と対内直接投資からみた韓国経済の現状と今後」 JETRO アドバイザー 百本 和弘氏 ・「転機を迎えるサプライチェーン ～保護主義、地政学リスク、サステナビリティ、デジタル化がもたらす変容～」 アジア経済研究所 上席研究員 若松 勇氏

事業計画	実施状況（○数字）、評価・方向性（→）
	<ul style="list-style-type: none"> ・「東南アジアにおける県産品販路開拓の取り組み」 石川県シンガポール事務所 ・「ますます熱くなる吉林省の氷雪経済」 北陸銀行大連駐在員事務所 ・「北陸企業で活躍する留学生 OB 紹介」 北陸電気工事(株) アンディ プラコソ 氏 (富山県立大学卒、インドネシア出身) <p>○Warm TOPIC 7/8月号 (Vol.184)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「朝鮮民主主義人民共和国における中国援助の経済施設」 アジア経済研究所 主任研究員 中川 雅彦氏 ・「北陸3県の人手不足の現状と男女別の職業別構成比の“危機的”特徴」－AI 導入をどう活かす－ 富山大学経済学部 教授 小柳津 英知氏 ・「台湾のアウトバウンド 富山のインバウンド」 富山県台北ビジネスサポートデスク ・「タイで発生した地震について」 Thai CG Innovation ・北陸の港湾貨物取扱量実績 ・北陸の空港利用状況 ・「北陸企業で活躍する留学生 OB 紹介」 技研(株) 張 樹興 氏 (金沢大学卒、中国出身) <p>○Warm TOPIC 9/10月号 (Vol.185)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北陸 AJEC 定期総会 会長挨拶、中部経産局長挨拶、2025 年度事業計画案 ・定期総会記念講演 「トランプ外交と世界情勢」 日本経済新聞 本社コメンテーター 秋田 浩之氏 ・「トランプ関税の日本・世界経済への影響」 アジア経済研究所 主任研究員 熊谷 聡氏 ・「商談会等を通じた県産食品の販路開拓について」 石川県上海事務所 ・「タイにおける LGBT の現状」 北陸銀行バンコク事務所 ・「北陸企業で活躍する留学生 OB 紹介」 (株)アイ・オー・データ機器 王 小芳 氏 (大阪大学大学院卒、中国出身) <p>○Warm TOPIC 11/12月号 (Vol.186)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本海側港湾の国際コンテナ物流」 新潟県立大学 教授 新井 洋史氏 ・「米中対立の新動向と日中関係の展望」 公益財団法人東京財団 主席研究員 柯 隆氏 ・「中国における福井県の観光 PR および県産食品の販路開拓などの県内企業支援について」 福井県上海事務所 ・「インドネシア新政府系投資ファンド『ダナンタラ』」 北陸銀行シンガポール事務所 ・「北陸企業で活躍する留学生 OB 紹介」 北陸ココ・コーラボトリング(株) 黄 河舟 氏 (富山国際大学卒、中国出身)

事業計画	実施状況（○数字）、評価・方向性（→）
	<p>○Warm TOPIC 1/2月号（Vol.187）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「成熟の先を見据えるタイー産業構造転換と人材国家への挑戦」 国士舘大学 教授／泰日工業大学 客員教授 助川 成也氏 ・「中国の人口推移及び少子高齢化への対応について」 富山県大連事務所 ・「ベトナムにおけるコンプライアンスとガバナンス」 CC Innovation Vietnam Co.,Ltd. ・北陸三県企業の海外進出状況 ・「北陸企業で活躍する留学生OB紹介」 川田工業株式会社 ハディ イスカンダル氏 （岐阜大学大学院卒 ブルネイ出身） <p>○Warm TOPIC 3/4月号（Vol.188）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『第15次五カ年計画』の策定と中国の経済政策」 福井県立大学 経済学部 准教授 加藤 健太郎氏 ・「シンガポールにおける県産品販路開拓の取り組み」 石川県シンガポール事務所 ・「2025年のタイ」 福井銀行バンコク駐在員事務所 ・北陸未来共創フォーラムとの連携事業紹介 ・高度外国人材活用セミナー開催概要 ・「北陸企業で活躍する留学生OB紹介」 コマツ産機株式会社 畢 晟氏（金沢大学卒、中国出身）

以 上

＜参考＞実施状況に関する写真



写真① ベトナム政府高官の産業視察（富山市役所）



写真② ベトナム政府高官の産業視察（津田駒工業）



写真③ ベトナム政府高官との交流懇親会



写真④ インドネシア行政官の産業視察（タカギセイコー）



写真⑤ インドネシア行政官の産業視察（石川県工業試験場）



写真⑥ 第1回海外現地情勢報告セミナー



写真⑦ 第21回 北陸(日本)・韓国経済交流会議



写真⑧ 第21回 北陸(日本)・韓国経済交流会議（挨拶）



写真⑨ 第21回 北陸(日本)・韓国経済交流会議 (覚書締結)



写真⑩ 第21回 北陸(日本)・韓国経済交流会議 (産業視察:ホクショー)



写真⑪ 第57回 日韓経済人会議@ソウル



写真⑫ ベトナムビジネス環境調査 (外国投資庁)



写真⑬ ベトナムビジネス環境調査 (ベトナム日本商工会議所)



写真⑭ ベトナムビジネス環境調査 (双日ロンドウック工業団地)



写真⑮ ベトナムビジネス環境調査 (住友商事工業団地内日系企業)



写真⑯ 「北陸企業による外国人留学生採用実例報告会」

以上

2025年度 北経連 決算報告書

1. 貸借対照表 2026年3月31日現在

(単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金・預金	70,887,788	創立60周年事業引当金	8,000,000
敷金(北国不動産)	1,496,480	西経協總會引当金	2,100,000
		退職給与引当金	329,424
		情報機器等整備引当金	2,200,000
		海外視察等引当金	9,600,000
		中期アクションプラン 検討事業引当金	3,000,000
		敷金(北国不動産)	1,496,480
		預り金等	128,382
		次年度繰越金	45,529,982
合計	72,384,268	合計	72,384,268

2. 収支計算書 2025年4月1日から2026年3月31日まで

(単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
会費収入	83,780,000	事業費	48,892,975
協力金	700,000	会議費	3,908,504
雑収入	545,252	人件費	10,691,548
引当金戻入	9,100,000	事務費	22,377,356
		引当金	8,700,000
前年度繰越金	45,975,113	次年度繰越金	45,529,982
合計	140,100,365	合計	140,100,365

2025年度 北経連 収支

(収入の部)

(単位:円)

	2025年度		差引(B-A)	摘 要
	予算額(A)	決算額(B)		
会費	84,900,000	83,780,000	▲ 1,120,000	
協力金	700,000	700,000	—	石川県商工会議所連合会から
雑収入	300,000	545,252	245,252	各種会合交通費謝金等
引当金戻入	12,300,000	9,100,000	▲ 3,200,000	情報機器等整備引当金580万円取崩し 中期アクションプラン検討事業引当金330万円取崩し
収入合計 (a)	98,200,000	94,125,252	▲ 4,074,748	
前年度繰越金 (b)	45,975,113	45,975,113	—	
収入の部 合計 (c)=(a+b)	144,175,113	140,100,365	▲ 4,074,748	

(支出の部)

(単位:円)

	2025年度		差引	摘 要 (万円未満 切り捨て)	
	予算額	決算額		予算額	決算額
事業費	58,742,000	48,892,975	▲ 9,849,025		
委員会活動費	28,568,000	18,807,236	▲ 9,760,764	<ul style="list-style-type: none"> ・総合対策委員会 1,108万円 ・人財活躍推進委員会 210万円 ・社会基盤委員会 471万円 ・新たな価値創出委員会 370万円 ・観光委員会 377万円 ・国際委員会 285万円 ・組織基盤委員会 35万円 	<ul style="list-style-type: none"> 816万円 114万円 164万円 230万円 306万円 231万円 16万円
連携活動費	30,174,000	30,085,739	▲ 88,261	<ul style="list-style-type: none"> ・会員懇談会等 550万円 ・他経済団体との懇談会等 547万円 ・行政との懇談会 375万円 ・関係団体への支援 720万円 ・その他事業費 825万円 〔北陸(日本)・韓国経済交流会議 289万円 等〕 	<ul style="list-style-type: none"> 467万円 672万円 366万円 720万円 782万円
会議費	4,500,000	3,908,504	▲ 591,496		
人件費	11,100,000	10,691,548	▲ 408,452		
事務費	23,828,000	22,377,356	▲ 1,450,644	什器・備品費(職員用パソコン新機種入替)等の諸経費削減	
引当金繰入	4,700,000	8,700,000	4,000,000		
				<ul style="list-style-type: none"> ・創立60周年事業引当金 100万円 ・西経協総会引当金 70万円 ・情報機器等整備引当金 100万円 ・海外視察等引当金 200万円 	<ul style="list-style-type: none"> 100万円 70万円 100万円 600万円
支出合計 (d)	102,870,000	94,570,383	▲ 8,299,617		
次年度繰越金 (e)=(c-d)	41,305,113	45,529,982	4,224,869		
支出の部 合計 (f)=(d+e)	144,175,113	140,100,365	▲ 4,074,748		

(引当金残高)	期首	期末
・創立60周年事業引当金	7,000,000円	8,000,000円
・西経協総会引当金	1,400,000円	2,100,000円
・退職給与引当金	329,424円	329,424円
・情報機器等整備引当金	7,000,000円	2,200,000円
・海外視察等引当金	3,600,000円	9,600,000円
・中期アクションプラン 検討事業引当金	6,300,000円	3,000,000円
計	25,629,424円	25,229,424円


監査報告書


2025年4月1日から2026年3月31日に至る期間における、
北陸経済連合会の決算書を監査致しました結果、正当かつ妥
当であることを認めます。

2026年4月20日

北陸経済連合会

監事

竹中 博康 

浜田 満広 

豊北 欽一 